平成２０年　第１回

福　島　町　議　会

臨　時　会　会　議　録

平成２０年１０月２０日　開会

平成２０年１０月２０日　閉会

福　島　町　議　会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意しておりますが、時間の関係上原稿校正は初校しかできなく、誤字、脱字がありますことを深くお詫び申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読いただきたくお願いいたします。

福島町議会議長　溝　部　幸　基

目　　次

平成２０年１０月２０日（月曜日）第１号

○議　事　日　程 …… １頁
○会議に付した事件 …… １頁
○出　席　議　員 …… １頁
○欠　席　議　員 …… １頁
○出 席 説 明 員 …… １頁
○職務のため議場に出席した議会事務局職員 …… １頁
○開会・開議宣告 …… ３頁
○町 長 あ い さ つ …… ３頁
○日程第１　会議録署名議員の指名 …… ３頁
○日程第２　諸般の報告 …… ３頁
○日程第３　会期の決定 …… ４頁
○日程第４　同意第１号　教育委員会委員の任命について（提案説明・質疑・討論・投票採決） …… ４頁
○日程第５　同意第２号　教育委員会委員の任命について（提案説明・質疑・討論・投票採決） …… ６頁
○閉会の議決・閉会宣告 …… １０頁

提出案件及び議決結果表

議案番号	件　　名	議決月日	議決結果
同意 1	教育委員会委員の任命について	10月20日	原案同意
同意 2	教育委員会委員の任命について	10月20日	原案同意

平成２０年第１回

福　島　町　議　会　臨　時　会

平成２０年１０月２０日（月曜日）第１号

◎議事日程

日程第１　会議録署名議員の指名
日程第２　諸般の報告
日程第３　会期の決定
日程第４　同意第１号　教育委員会委員の任命について
日程第５　同意第２号　教育委員会委員の任命について

◎会議に付した事件

日程第１　会議録署名議員の指名
日程第２　諸般の報告
日程第３　会期の決定
日程第４　同意第１号　教育委員会委員の任命について
日程第５　同意第２号　教育委員会委員の任命について

◎出席議員（１２名）

議　長	１２番	溝　部　幸　基	副議長	１１番	金　沢　秀　一
	１番	佐　藤　卓　也		２番	川　村　明　雄
	３番	新　山　大　吉		４番	木　村　　隆
	５番	加　藤　雅　行		６番	杉　村　志　朗
	７番	佐　藤　孝　男		８番	藤　山　　大
	９番	平　野　隆　雄		１０番	滝　川　明　子

◎欠席議員（０名）

◎出席説明員

町　　長	村　田　　駿	副　町　長	竹　下　泰　弘
総務課長兼総務グループ参事	丁子谷　雅　男	教育委員会教育次長兼学校教育グループ参事	木　村　　修
監　査　委　員	花　田　修　一		

◎職務のため議場に出席した議会事務局職員

議会事務局長	石　堂　一　志	議会グループ総括主査	坂　口　　稔
議会グループ主事	吉　澤　裕　治	議会グループ書記	庭　奈　々　子

（開会　午前　１０時００分）

◎開　会　・　開　議　宣　告

○議長（溝部幸基）　おはようございます。

ただいまから、平成２０年第１回福島町議会臨時会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程に入る前に、村田町長より申し出がありますので、あいさつを行います。

村田町長。起

◎町　長　あ　い　さ　つ

○町長（村田駿）　おはようございます。

平成２０年第１回福島町議会臨時会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

議員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

本日、ご審議をいただく案件は２件であり、教育委員会委員の任命についてでございます。

９月会議において、任命の同意を得られませんでした２名について、新たに人選し提案するものでございます。

のちほど、２名にかかる提案説明はさせていただきますが、総務課長の丁子谷雅男氏については、議会事務局長３年の経歴等から、多くの議員の皆様には仕事ぶりや人柄、性格等については承知されているところと存じますが、教育委員として安心して教育行政を推進していただけることを確信いたしているところであります。本人も、このたびの人事案件につきましては、強い決意をもって承諾されているところでもございます。

また、福島郵便局長の高田重美氏については、２人の子どもさんが小学校、中学校時代には、ＰＴＡ活動や学校行事には積極的に参加され、地域においても、町内会対抗町民パークゴルフ大会に夫婦で参加されているところでございます。

温厚、誠実、責任感が強く、生涯を福島町でということで三岳地区に土地と住宅を確保されております。

このたび、教育委員として提案するにあたり、毎月の教育委員会議のことや学校行事等のことなどを話され本日に至ったところでございます。

どうぞひとつ、議員の皆様方には、本日の人事案件２件につきましては、ぜひ、同意賜りますようお願い申し上げまして、私のあいさつに代えさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○議長（溝部幸基）　村田町長のあいさつが終わりました。

◎会議録署名議員の指名

○議長（溝部幸基）　日程第１　会議録署名議員の指名を行います。

１１番金沢秀一議員、１番佐藤卓也議員を指名いたします。

◎諸　般　の　報　告

○議長（溝部幸基）　日程第２　諸般の報告を行います。

議会運営委員会の報告を行います。

１０番滝川明子議会運営委員長。

○１０番（滝川明子）　平成２０年第１回定例会福島町議会臨時会の開会にあたりまして、去る１０月１０日に開催いたしました議会運営委員会の協議結果を報告いたします。

まず、議事日程はお手元のとおりでございます。

なお、日程第３及び第４の人事案件につきましては、投票採決とすることにいたしました。

次に、本臨時会の審議日数は、本日１日となりましたので、議事運営にご協力をお願い申し上げまして、議会運営委員会の報告といたします。

○議長（溝部幸基）　議会運営委員会の報告を終わります。

本日の議事は、ただいま滝川明子議会運営委員長から報告がありましたように進めてまいります。

また、諸般の報告もすでに印刷のうえ皆様のお

手元に配付のとおりでございますので、ご了承願います。

◎会　期　の　決　定

○　**議長（溝部幸基）**　日程第３　会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、議会運営委員会の報告のとおり本日１日といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○**議長（溝部幸基）**　ご異議なしと認め、本臨時会の会期は本日１日と決定いたしました。

◎同意第１号　教育委員会委員の任命について

○**議長（溝部幸基）**　日程第４　同意第１号教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

村田町長。

○**町長（村田駿）**　同意第１号　教育委員会委員の任命について。

教育委員に次の者を任命したいので、議会の同意を求める。

記、住所、福島町字吉岡１１５番地。氏名、丁子谷雅男。生年月日、昭和２５年３月２３日。

丁子谷氏について、若干補足説明させていただきます。

丁子谷氏は、北海道立木古内高等学校を卒業後、昭和４４年４月から福島町職員として現在に至っているところでございます。この間、管財係長、振興課長補佐、まちづくり推進室長、議会事務局長、総務課長等歴任され、通算３９年６カ月、役場職員として勤務されているところでございます。この間、昭和５５年４月から１年間は、北海道にも派遣されているところでもございます。

また、３人の子どもさんの父親として、吉岡中学校ＰＴＡ会長として３年間活躍された経緯もございます。さきほど、あいさつの中でも申し上げましたとおり、とにかく真面目で誠実であり、福島町の教育行政に誠実に取り組んでいただけることを確信し、教育委員としての同意を求めるものでございます。

ご審議のうえ、同意方よろしくお願い申し上げ、誠に簡単でございますけれども補足説明に代えさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○**議長（溝部幸基）**　提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

１番佐藤卓也議員。

○**１番（佐藤卓也）**　今月１１日の北海道新聞に、タイトルとして、教育長に丁子谷氏を福島町が起用を決めたという記事がありました。教育長を決めたとあるのですが、地方教育行政法の１６条を見ましたら、教育長は教育委員会が任命すると書いてありました。

もし、町長がさきに教育長を決めてしまうということになりますと、教育委員会の形骸化につながるのではないのかという疑問をもちましたので、答弁をお願いしたいと思います。

○**議長（溝部幸基）**　村田町長。

○**町長（村田駿）**　私自身は意向としますと、教育委員５名の中から教育長を選んでいただかなくてはなりません。これは議員ご承知のことと存じます。ですから、今日の議会もそうですけれども、教育長としての選任同意ではなく、あくまでも議員が言われているように、まず教育委員として議会の同意を得たあとに教育委員会議の中で、教育長なり教育委員長というものが決定されると思います。

教育長に丁子谷氏を起用ということで、議会でまだご審議する前に１０月１１日の北海道新聞に載っていたことについては、私自身もまだ議会に提案していない中で、総務課長を提案するということについては話をしておりますけれども、こういうような記事になるとは予想していなかったことも事実でございます。

教育長の選任等については、議員が言われる教育委員会議で決定する以外、何物でもないと思ってございます。

○議長（溝部幸基）　１番佐藤卓也議員。

○１番（佐藤卓也）　教育委員会は、首長から独立していると文部科学省では言っているわけです。例えば、選挙管理委員会とか公正取引委員会といったような行政委員会の１つとして考えられている。

首長から独立しているということは、首長への権限の集中を防止する、または、中立で専門的な行政運営を担保しているという目的があるのではないかと思います。

しかし、さきに町長から教育長を北海道新聞に出してしまうということは、表向きどうかという疑問は持ちます。

また、どうして教育委員会が教育長を決めるかというと、文部科学省では、住民による意思決定、つまり住民がある程度コントロールするのだという意味をもっているらしいのです。

しかし、さきに町で起用を決めてしまったと表に出てしまうと、住民による意思決定、教育委員会による任命というものに対して多大な影響を受けるのではないかと思っております。

教育長の人柄が真面目で誠実というのはわかるのですが、今回議会で決めるのは教育委員です。地方教育行政法の４条を見ますと、人柄とかそういったものは書いてなく、どういう人を選ぶかというと人格が高潔で、教育、学術及び文化に関して識見を有する者のうちから議会の同意を得て任命すると書いてあります。

私としても、さきに起用を決めたといったことを北海道新聞が単独で出したのか、町長が出すようにしたのかわかりませんけれども、住民の意思とか教育委員会の意思を多少無視するものではないのかという疑問をもってしまいます。再度ご答弁願います。

○議長（溝部幸基）　村田町長。

○町長（村田駿）　９月会議のときに、教育長と教育委員１名がそれぞれ議会の同意を得られなかった。

そして、そのあとに教育行政を進めるうえで、教育長、教育委員２名がいないわけですから３人の委員さんたちに負担がかかるという中で、教育委員さんからも早めに２名の教育委員の確保をお願いしますという経過がありまして、私自身もいろいろな福島町の教育行政で抱える問題等を考慮した中で早く決めなければならないと思っておりました。

それで、いろいろ手法とすればよそから連れてくる、様々な町内の他の団体から選ぶといった手法があるでしょうけれども、私自身は今までの丁子谷氏の役場での経歴、あるいはまた、本人の仕事に対する前向きな姿勢等々から、丁子谷氏を今回の教育委員として議会の同意を求めることについては、かなり固持はしておりますけれども、承諾をしていただいて本日に至った経緯がございます。

それで、北海道新聞の取材の中で、同じ人をもう１度するのですかというお話がございました。私自身は、できうれば町の職員から教育委員として１名は上げたいという中で、いちばん信頼できるといえばあれですけれども、教育行政を誠実にやっていただける人物として総務課長を議会の同意を求めるようにお願いしたいというようなことでは取材に応じた経緯がございます。

○議長（溝部幸基）　そのほか、質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　討論なしと認め、討論を終わります。

採決を行います。

採決は会議規則第８１条第１項の規定により、投票で行います。

投票は、無記名投票で行います。

議場の出入り口を閉めます。

（議場閉鎖）

○議長（溝部幸基）　直ちに、投票を行います。ただいまの出席議員数は１２名です。

次に、立会人を指名いたします。会議規則第３２条の規定により、立会人に５番加藤雅行議員、６番杉村志朗議員を指名いたします。

投票用紙を配付いたします。

（投票用紙配付）

○議長（溝部幸基）　投票用紙の配付もれはありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　配付もれなしと認めます。

投票箱を点検いたします。

（投票箱点検）

○議長（溝部幸基）　異常なしと認めます。

念のため申し上げます。記載所において、同意第１号に同意することに賛成する方は賛成と、反対する方は反対と記載のうえ、点呼に応じて順次投票願います。あわせて、白票及び他事記載については反対となりますのでご了知願います。

点呼を命じます。

事務局長が議席番号と氏名を呼び上げますので、順番に投票願います。

石堂議会事務局長。

○議会事務局長（石堂一志）　１番佐藤卓也議員、２番川村明雄議員、３番新山大吉議員、４番木村隆議員、５番加藤雅行議員、６番杉村志朗議員、７番佐藤孝男議員、８番藤山大議員、９番平野隆雄議員、１０番滝川明子議員、１１番金沢秀一副議長。

（投　　票）

○議長（溝部幸基）　投票もれはありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　投票もれなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。５番加藤雅行議員、６番杉村志朗議員の立会いをお願いいたします。

（開　　票）

○議長（溝部幸基）　投票の結果を報告いたします。

投票総数１１票、有効投票１１票、無効投票０票です。有効投票のうち、賛成１１票、反対０票。以上のとおり、賛成が多数ですので同意第１号は原案に同意することに決定いたしました。

議場の出入り口を開きます。

（議場開鎖）

◎同意第２号　教育委員会委員の任命について

○議長（溝部幸基）　日程第５　同意第２号教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

村田町長。

○町長（村田駿）　同意第２号　教育委員会委員の任命について。

教育委員会委員に次の者を任命したいので、議会の同意を求める。

住所、福島町字三岳９０番地の１５。氏名、高田重美。生年月日、昭和３０年１１月２９日。高田重美氏について、若干補足説明させていただきます。

高田氏の最終学歴は、北海道立木古内高等学校でございます。昭和４９年１０月から、知内町小谷石郵便局をスタートにし、今日まで郵便局員として一筋の勤務でございます。この間、平成７年７月、福島町吉岡郵便局局長代理、そして、平成９年６月には松前町白神郵便局長になられております。

しかし、この２年間、白神郵便局長時代も町内吉岡地区から白神に通われた高田氏でございます。平成１１年６月に福島町吉岡郵便局局長、そして、平成１７年４月から福島郵便局長として現在に至っているところでございます。

今回の教育委員のことについて、高田局長と相談、協議いたしました。その中におきまして、非常にここ数年は民営化等の問題で忙しい年月であったそうです。民営化も一段落いたしまして、自分の子どもさん２人、男の子１名、女の子１名ともに吉岡小中学校を卒業されておりまして、で

きうれば子どものお世話になった福島町の教育行政に微力ながら貢献をしていきたいという本人の快諾も得ました。私自身、福島町吉岡郵便局の局長代理になって以来、高田氏とは多くの町民の方々とお付き合いしていると思いますけれども、非常に責任感が強い方で、そしてまた、温厚、誠実で教育委員には最も適している人物だという思いもしております。

あわせて、平成１４年４月からは町内の保護司としても社会活動の中で協力されているという高田氏でございます。さきほど、あいさつの中で申し上げましたとおり、郵便局という職場の関係から、多くの方々との窓口での対応は可能ですけれども、なかなか輪の中に入っての交流がなかったそうです。そういう面で人物的にはわからない方も多いかと思いますけれども、私ども町の行政を携っている中でいろんな町内会対抗のパークゴルフ大会等においても町内会代表として夫婦で参加をされたり、子どもさん方が小中学校の生徒さん時代はＰＴＡの活動のほうにも積極的に活動されております。何よりも、誠実、温厚、責任感が強いということで今回教育委員として議会の皆さんの任命同意をいただきたく、私の提案説明、補足説明に代えさせていただきます。

どうぞひとつよろしくお願いいたします。

○議長（溝部幸基）　提案理由の説明が終わりました。

質疑を行います。

４番木村隆議員。

○４番（木村隆）　前回、平沼竜平さんの同意案のときから少し疑問に思っていたのですけれども、新しい教育委員をお願いしに行くことにあたって、お願いする相手に、ある程度教育委員の仕事の中身ですとか、年間の会議の回数とか、その辺は教えているのかどうか。どのようにお願いに行っているのか説明していただきたいと思います。

○議長（溝部幸基）　村田町長。

○町長（村田駿）　教育委員の議会の同意を得て議会の任命を得る中では、私自身、前回の９月会議の任命を得られなかったことを、あの方々は４年間の経験がある方でございまして、再任が得られなかったという中で、今回新たに高田氏をお願いするにあたっては、教育委員として福島町の抱えている学校、幼稚園、そういうような今後の課題になっている問題、少子化の問題、あわせて何よりもわずか５人の人数で職業がバラバラなものですから、今までずっと見ましても１２回の教育委員会議が５人揃っている状態ではないのかという受け止め方をしてございました。

そういう中で、私も教育委員会に特にお願いしなければならないのは、職業がバラバラなものですから、どなたの日程に合わせるかというのがこれから１人も欠けない中で教育委員会議をしていただきたいという中では大きな課題だと思っていますが、少なくとも年１２回の教育委員会議がございます。それから、無報酬ではございません。そういう中で、責任をもった教育委員としての発言なりをしていただきたいということが１つ。

あわせて、さきほど申し上げましたとおり、教育委員会としてはいろんな課題がある中で、それらについては前向きに相談にのり、発言をしていただきたい。年間の各町内の学校行事等についても時期的なことも話をしながら、それらについてもできうる限り調整をして参加していただきたいとか、そういうようなことを事前に協議したうえで教育委員としてお願いしたという経緯でございます。

○議長（溝部幸基）　４番木村隆議員。

○４番（木村隆）　現実的に、保護司の会議とかにはほとんど出席していないような現状なのです。局長さんですから忙しいわけです。もちろん人柄ですとか仕事ぶりというのは、吉岡局長時代に私も大変お世話になっているので存じているのです。

それで、これから仮に議案が同意された場合、保護司のようにあまり会議に出席できない感じになりますと、結局、出席できない教育委員を任命したのは議会だという任命責任になります。実際、岡さんも一身上の都合で辞めておりますし、忙しいので最悪、岡さんと同じような事態になるとい

うこともありえない話でもないような気がします。町長も、新聞に任せられる人事だと発言しているわけですから、任す以上は、最低限出席してもらわないと困るわけですし、繰り返しになりますけれども、重々町長からも忙しくても会議には出席してくれますように、今一度お願いをしてもらいたいと思います。

○議長（溝部幸基）　村田町長。

○町長（村田駿）　私自身、いろんな形で人事案件等について議会で同意を得られないということについては、私自身も大きな責任があると認識はして、今回の教育委員の人事についても今日の議会に臨んでおります。

ですから、特に教育委員会議においては、本人と時間を設けて協議した中においては、今まで教育委員会にこういう問題でお願いしたことございません。教育委員長の日程に合わせるのか、他の委員さん方の状況を聞いて総体的に全員が出席できる日を調整しているのか、この辺は私自身も教育委員会に確認した敬意がございません。できうれば、その月によって５人の教育委員さん方が出席できる日を１カ月のうちに何日間だとか調整した中で開催していただきたいというのが１つです。

あわせて、今回提案しております、高田重美氏についてもそれらの意見が議会であったということも踏まえながら、改めて私のほうからも教育委員会議は日中行われる会議でございますけれども、かけることのないように、出てもらうことを前提に話をしていきたいし、本人にはそのように強く私からも要請するつもりでございます。

○議長（溝部幸基）　そのほか、質疑ございませんか。

１０番滝川明子議員。

○１０番（滝川明子）　提案者の要請に応えてくださったことに敬意を表しながらも１つだけお聞きしたいと思います。

教育現場を経験していらっしゃる方、つまり、教員の経験がある方で町内に住んでいる方もいらっしゃると思うのですけれども、そういう方たちにはあたられたのでしょうか。

○議長（溝部幸基）　村田町長。

○町長（村田駿）　町内にも何名か教員生活を過ごされた方、あるいはまた、学校長まで経験された方もおります。教育委員等については、いちばんさきにその方々も検討するわけでございますが、議員ご承知のとおり、今は保護者の代表も入れなければならないだとか、昔と法律的に変わっている経緯もございます。

できうれば、少子化が進んでいる中で、例えば小学生、中学生の父母の声を聞ける人、あるいはまた、教育委員の中でも私はある程度、定年などした人を若ければ導入ということもいいのですけれども、町内で多くの方々と協議できる、話し合いできる、また、そういう中に誠実に対応できる人がいちばんではという思いから今回の教育委員の選任についてはあたっております。

それで、滝川議員言われるように、教師経験者を検討しないというわけではございません。検討はしてみましたけれども、私自身の頭の中にある教育経験者というのは高齢の方が多いものですから、できうる限り若い人を今度の教育委員の中に入れたいということで提案している経緯がございます。

○議長（溝部幸基）　１０番滝川明子議員。

○１０番（滝川明子）　確認させてください。高齢者の方は確かに多いと思います。定年退職をなさって、地域で活動を十分なさっていらっしゃる方とか、いろいろ私も知るところなのですけれども、町長のお考えの年齢基準みたいなのはございますか。

○議長（溝部幸基）　村田町長。

○町長（村田駿）　まず、今日の任命同意については別にして、今３名いる教育委員さんの方は、長年町内で教育の現場にいた経験者の大津さんは、教育委員長として長年町内の教壇に立たれて、その先端にいたわけでございます。

ですから、できうればそういう人方を中心にして若い方々がこれからの少子化が進む中での町内の小中学校なり、保育所なりも含んで検討、協

議できるような体制であっていただければという思いで今回の人選にあたってございます。

年齢というのは、非常に微妙なところがありますけれども、７０歳以上の方々などについては教育委員会でもその辺を一定の基準にした中で協議しておりますので、新しく入っていただく方は６０歳なり６５歳くらいを上限として入っていただきたいと、私個人的にはそういう思いはしてございます。

○議長（溝部幸基）　そのほか、質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　質疑なしと認め、質疑を終わります。

討論を行います。

（「なし」という声あり）

採決を行います。

採決は会議規則第８１条第１項の規定により、投票で行います。

投票は、無記名投票で行います。

議場の出入り口を閉めます。

（議場閉鎖）

○議長（溝部幸基）　直ちに、投票を行います。ただいまの出席議員数は１２名です。

次に、立会人を指名いたします。会議規則第３２条の規定により、立会人に５番加藤雅行議員、６番杉村志朗議員を指名いたします。

投票用紙を配付いたします。

（投票用紙配付）

○議長（溝部幸基）　投票用紙の配付もれはありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　配付もれなしと認めます。

投票箱を点検いたします。

（投票箱点検）

○議長（溝部幸基）　異常なしと認めます。

念のため申し上げます。記載所において、同意第１号に同意することに賛成する方は賛成と、反対する方は反対と記載のうえ、点呼に応じて順次投票願います。あわせて、白票及び他事記載については反対となりますのでご了知願います。

点呼を命じます。

事務局長が議席番号と氏名を呼びあげますので、順番に投票願います。

石堂議会事務局長。

○議会事務局長（石堂一志）　１番佐藤卓也議員、２番川村明雄議員、３番新山大吉議員、４番木村隆議員、５番加藤雅行議員、６番杉村志朗議員、７番佐藤孝男議員、８番藤山大議員、９番平野隆雄議員、１０番滝川明子議員、１１番金沢秀一副議長。

（投　　票）

○議長（溝部幸基）　投票もれはありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　投票もれなしと認めます。

投票を終わります。

開票を行います。５番加藤雅行議員、６番杉村志朗議員の立会いをお願いいたします。

（開　　票）

○議長（溝部幸基）　投票の結果を報告いたします。

投票総数１１票、有効投票１１票。有効投票のうち、賛成６票、反対５票。以上のとおり、賛成が多数ですので同意第２号は原案に同意することに決定いたしました。

議場の出入り口を開きます。

（議場開鎖）

○議長（溝部幸基）　教育委員会委員の同意案件に関連して、丁子谷総務課長からあいさつの申し出がありますので、この際これを許したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（溝部幸基）　異議がないようですので、あいさつを許します。

暫時休憩いたします。

（休憩　午前　１０時５２分）

（再開　午前　１０時５６分）

○議長（溝部幸基）　休憩前に引き続き、会議

を再開いたします。

丁子谷総務課長。

○総務課長（丁子谷雅男）　ただいまの私に対する教育委員会委員としての選任同意に際しましては、皆様方のご賛同をいただきましてありがとうございます。その中で、前段の部分であいさつも含めて議論いただきまして、誠に申し訳ございません。町長からの話がありましたように、私自身、１０日の議会運営委員会の段階で２０日付けをもって退職という形で退職願を出させていただきました。

そういう中で、今こういう形で選任同意を受けたわけでございますけれども、今までの長い３９年６カ月という役場職員の生活の中で、皆様方を含め、職員にもいろいろお世話になったことをまずは感謝を申し上げたいと思います。

今回、教育委員の同意を受けた中で、これからは学校関係者、ＰＴＡ、さらには町民の皆さんのご協力をいただきながら、わが町の教育行政に取り組んでまいりたいと考えております。

議会の皆様方におかれましても、今後、わが町の教育行政のあり方について、さらにご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、あいさつに代えさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

◎閉会の議決・閉会宣告

○議長（溝部幸基）　以上で、付議された案件の審議は、すべて終了いたしました。

よって、平成２０年第１回福島町議会臨時会を終了いたします。

どうもご苦労様でした。

（閉会　午前　１０時５７分）

地方自治法第１２３条第２項の規定により署名する。

北海道松前郡福島町議会

議　　長

署 名 議 員

署 名 議 員